

連絡先：ハーディ・ジョーンズ - hardyjones@bluevoice.org

またはデボラ・カティング - debcutting@bluevoice.org

IWC 期間中： Sheraton Hotel, Santiago

米国の電話番号： 904 819-5509

FOR IMMEDIATE RELEASE June 23, 2008

「A SHARED FATE」と題する白書が、人間および海洋哺乳類の癌と海洋有害物質との関連性を明らかにしました。

イルカや他の海洋哺乳類の癌は、長年まれだと見なされてきました。近年、世界中で、セント・ローレンス河口のシロイルカとカリフォルニア沿岸のアシカをはじめとするイルカや他の海洋哺乳類に、かなりの発生率で癌が発見されています。海洋有害物質の連座は、これらの病気の原因に明確な関連性があります。

さらに、人間が汚染された魚を消費しているという証拠が増加しており、特に海洋哺乳類を食べる人々は、自らをある特定の癌にかかる危険にさらしています。

インターネット・ベースの海洋保護組織、Bluevoice.org は、汚染された海洋環境からの魚と海洋哺乳類を消費する人間とイルカに共通のリスクを記録した A SHARED FATE [共通の運命] のバージョン 1 をリリースしました。

イルカは、残留性有機汚染物質を処理する遺伝子が欠如していることが、最近の研究で証明されました。従って、これらの化学物質を高濃度で含有する魚を消費する場合、はるかに高いリスクがあります。海洋環境に、このような化学物質が増加していることに加えて、遺伝的にそれらを処理できないことは、世界中のイルカに壊滅的な脅威を及ぼします。

国際骨髄腫財団のエグゼクティブ・ディレクター、ブライアン・デューリー博士は、多発性骨髄腫（血液癌の一種）の患者の DNA 調査を実施し、ダイオキシンやベンゼンなどの環境有害物質と骨髄腫や他の癌のリスク増加の関連性を明らかにする遺伝子的連関を発見しました。

イルカと人間は、魚介類に含有される同じ有害物質にさらされています。世界中でおよそ 20 億人が、主なタンパク源を魚介類に頼っています。テキサス A & M 大学の科学者たちは、人間とイルカの遺伝子を研究し、それらは基本的に同じ

だという結論に達しました。

BlueVoice.org. のエグゼクティブ・ディレクター、ハーディー・ジョーンズは、
「もし、制御不能の業界が海洋環境に大量の化学物質を送り込み続

けるならイルカと人間は最終的に同じ運命を共にするだろう。人間とイルカの遺伝的特徴を学べば、学ぶほど、ますます私たちはほとんど同一であることを発見する」と述べました。「従って、イルカは、海洋の状態を警告する指標になり、そのメッセージは、私たちが地球の大きな食料源のひとつを汚染しているということです」

A SHARED FATE は、イルカとクジラの肉を食べる日本人が摂取した高濃度の汚染物質についてのレポートが入っています。日本のエルザ自然保護の会と協力の上、BlueVoice は、太地の住民のサンプルを最近検査しました - イルカ肉を食べる人もおり、食べない人もいます。イルカ肉を食べる人々は、非常に高濃度の水銀を体内に含有しています。

A SHARED FATE は、また、残留性有機汚染化学物質と重金属のデータ表、この主題に関連する用語集、および有害物質と病気に関連づけたイルカと人間の遺伝学に関するいくつかの技術論文が入っています。

BlueVoice.org の使命は、海洋の生命力を破滅的な衰退から逆転させ、野生動物の繁栄および人間の健康で持続可能な食料源を支えることができる豊かな本来の状態に回復させることです。

私たちのクジラに対する懸念は、彼らの海洋生物として存在する権利および海洋状態の指標と象徴としての両方です。

私たちが現在重要視しているのは、減少する魚の集団のほとんどを汚染した生物濃縮性の毒素によって、多くの大型の海洋生物が、人間が食べるには有毒であると宣言されるほどまでに汚染された海洋生態系の汚染レベルを調査し公表することです。現在の私たちのもっとも重要なキャンペーンは、人間のホルモンの崩壊および癌の塊と汚染された魚との関連性を調査し公表することです。

私たちの最新映画 “The Dolphin Defender” [イルカの擁護者] は、PBSで初演され、国際配給されています。

15分映画のDVD、英語の全白書および和訳された日本に関するセクションはBlueVoice.org で入手できます。

BlueVoice.org は、ビデオと文書での追加情報があります: <http://www.bluevoice.org>

2008年国際捕鯨委員会での A SHARED FATE のプレゼンテーションのスポンサーは、OceanCare と LegaSeas International です。